

# 201.精神疾患・認知症患者に対する急性期精神科病棟での転倒防止の検討についての研究

## 研究の概要

この研究は、患者様の安全・安楽かつ快適な入院生活を援助する目的で、精神疾患・認知症を患った急性期精神科病棟での転倒事例を通し、患者様の疾患や症状、状況を明らかにし転倒件数減少に向け実態調査を行い、今後の看護援助に役立てていきたいと考えています。

## 研究の目的と方法

目的：入院中に転倒された状況を医療安全報告書、診療録より情報を収集し調査することにより実態を明らかにし、転倒件数減少に向けた看護に繋げて行く事を目的としています。

方法：転倒の要因として考えられる項目として年齢・既往歴・入院日数・生活自立度・環境・薬剤・精神状態について医療安全報告書、診療録より情報を収集し分析させていただきます。

## 本研究の参加について

研究目的や主義、方法等について院内ホームページにて研究情報公開を行っています。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がある際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。ただし学会発表後や論文報告後は集計から外すことは不可能となります。

## 調査する内容

本研究は、令和3年4月1日～令和5年3月31日の期間中、国立病院機構熊本医療センター7南病棟に入院し療養中に転倒された患者様を対象としています。新たに試料・情報を取得することはなく、既存のカルテ情報・医療安全報告書を用いて実施する研究です。終了後は破棄いたします。

## 調査期間

研究期間：倫理委員会承認後～令和6年3月31日まで

実施期間：倫理委員会承認後～令和5年11月30日まで（データ収集期間）

## 研究成果の発表

調査した患者様のデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者様のデータをする際も、個人が特定されることはありません。

## 研究代表者

国立病院機構医療センター 7南病棟 看護師 池尻幸太郎

## 当院における研究責任者

国立病院機構医療センター 7南病棟 看護師長 松本広美

問い合わせ先

国立病院機構医療センター 7南病棟 看護師長 松本広美

電話：096-353-6501